

京都大学教育研究振興財団助成事業  
成 果 報 告 書

平成27年10月1日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団

会長 辻 井 昭 雄 様

所属部局 国際高等教育院・大学院理学研究科

職 名 教授

氏 名 吉 村 一 良

助成の種類	平成27年度・研究成果公開支援・国際会議開催助成		
事業内容	金属磁性体におけるスピン揺らぎの国際ワークショップ International Workshop on Itinerant-Electron Magnetism		
開催期間	平成27年 9月25日 ～ 平成27年 9月27日		
開催場所	京都大学理学研究科セミナーハウス Kyoto University, Kyoto city, Japan		
参加者	総数 70名	内 訳 アメリカ、中国、香港、ドイツ、フランス、 エジプト、日本	
成果の概要	タイトルは「成果の概要／報告者名」として、A4版2000字程度・和文で作成し、添付して下さい。「成果の概要」以外に添付する資料 無		
会計報告	事業に要した経費総額	2,835,000 円	
	うち当財団からの助成額	1,000,000 円	
	その他の資金の出所	(機関や資金の名称) 井上科学財団、京都コンベンション&ビジターズビューロー、 福田金属箔粉工業株式会社、株式会社サムウェイ、株式会社重田実業、参加登録費	
	経費の内訳と助成金の使途について		
	費 目	金 額 (円)	財団助成充当額 (円)
	外国人招待講演者招聘費用	750,000	450,000
	日本人招待講演者招聘費用	450,000	150,000
	プロシーディングス出版費用	500,000	200,000
	ウェルカムパーティー代	155,000	0
	バンケット(懇親会)代	292,000	0
VIP懇親会代	420,000	0	
学生アルバイト代(15人)	230,000	200,000	
コーヒープレイク代	38,000	0	
当財団の助成について	(今回の助成に対する感想、今後の助成に望むこと等お書き下さい。助成事業の参考にさせていただきます。) 小規模の国際会議を開催する際に企業などから助成を得ることは困難である。また会議のレベルをあげるためには国内外から優秀な研究者を呼ぶ必要がある。 従って本助成は小中規模、かつハイレベルな会議を開く上で非常に有用である。		

## 成果の概要

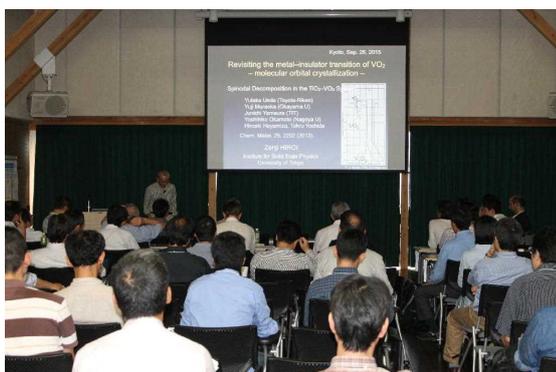
本助成により国際会議"International Workshop on Itinerant-Electron Magnetism"が 9/25～9/27 の日程で開催された。

本会議では、金属における遍歴電子の示す磁性がどのようなものであるか、またそれに関連してどのような新しい現象が現れるかを議論した。口頭発表は全て招待講演者によるもので、海外からはアメリカ、中国、香港、ドイツ、フランスの研究者が新しい研究成果を披露した。参加者数はポスター発表も含めて計 70 名にのぼり、研究者、学生の枠を超えて活発な議論がなされた。

会議では 9/25 の夕方に Get Together が開催され、海外、国内遠路からの参加者と交流を行った。9/26 は本助成申請者である吉村一良によるオープニングの挨拶で、遍歴磁性体の歴史的な発展と今後の展望について説明が行われた。それからコーヒブレイク、昼食をはさみ、初日の口頭発表は 10 件で、16:00 まで続けられた。講演の中では、これまで遍歴電子磁性の理論的発展に貢献されてきた兵庫県立大の高橋慶紀先生の講演が印象的であった。この会議は今年退官を迎える高橋教授のメモリアルも兼ねている。

26 日夕方 16:30 から 18:30 までポスターセッションが行われた。ポスターセッションは海外の研究者から日本の学生まで幅広い内容で盛況に議論された。

27 日は午前中にコーヒブレイクを挟んで招待講演が 6 件が行われ、13:00 からの中村裕之教授による挨拶により閉会した。



写真、上左および上右：招待講演における発表の様子、下左：ポスター発表における活発な議論、下右：バンケット（懇親会）の様相